

【政府への働きかけ】

第2回日タンザニア・ビジネス対話(タンザニア)

開催日： 令和6年8月15日

場 所： ニエレレ国際会議場

参加企業・団体： 在タンザニア日本人会商工部会、タンザニア・シガレット・カンパニー(TCC)、
Baridi Baridi Tanzania、WASSHAほか在タンザニア日本企業

在タンザニア大使館

【背景】

- 日本企業は、タンザニアでの事業の立上げ及び実施に際し、査証・滞在許可証及び許認可の取得困難、徴税プロセスにおける透明性・公平性及び一貫性の不足、司法・警察の対応、汚職、市場での不公正な競争環境等の課題を抱えており、大使館は、個別企業の要望に応じ、政府関係当局との協議などを支援してきた。
- 2022年、TICAD8のフォローアップとして、タンザニア政府との間でビジネス環境改善委員会(ビジネス対話)の設立に合意。2023年5月に第1回ビジネス対話を開催し、翌年以降も継続することで合意。



【在外公館の対応】

- 第1回ビジネス対話以降、日本企業の要望に応じた個別の働きかけを都度行うとともに、日本企業に対しビジネス上の課題につきアンケート及びインタビューを定期的に行い、フォローアップした。
- 令和6年8月15日、第2回ビジネス対話を開催し、日本企業の代表、JICA、タンザニア政府(産業貿易省、歳入庁、出入国局、貿易開発庁、公正競争委員会、汚職防止撲滅委員会など)が出席した。日本企業から課題を提起し、タンザニア政府側から回答及び説明が行われ、フォローアップに向けた取組につき議論した。



【結果】

- 課題に対する双方の理解を深め改善に向けた具体的行動を検討するとともに、個別の企業が抱える課題を再度提起して対応を求める契機となった。

